

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町 とまと館		
所在地	北海道札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成28年3月3日	評価結果市町村受理日	平成28年4月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigrosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症であっても社会資源の活用、地域の方の協力を得て、当たり前前の生活、穏やかな毎日を過ごすことができるよう支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームみのり菊水元町」は、近くに公園や桜の木の遊歩道などがある自然環境に恵まれた静かな住宅地に立地している。建物内は明るく開放感がある造りで、トイレや浴室などはプライバシーに配慮して居間や食堂から見えにくい場所に設置されている。全職員で理念を共有し、管理者を中心に一人ひとりの利用者の意向に沿って温もりのある個別支援を行っている。隣接する有料老人ホームで毎月開催しているフラワーアレンジメントや地域で開催している「ふれあい広場」に利用者が交代で参加して、しめ縄やクリスマスリースなど季節の作品作りを行うなど、地域の方々と積極的に交流を深めながら年間を通して外出する機会を作っている。管理者は、当日勤務の全職員と会話をする時間を設けながら、常に些細な意見や提案も言いやすいような職場環境を整えている。排泄や入浴支援などすべての面において、一人ひとりの人格を尊重した質の高いケアに全職員で取り組んでいる。個々の利用者の摂食状況に応じて食事の形態に配慮して楽しんで食べられるように工夫すると共に、行事食は利用者の好みに応じて数種類から事業所毎に選べるように法人献立が工夫されている。職員の笑顔で温もりのある対応に、利用者や家族は安心感を持っている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員で考えた理念であり、毎日朝礼で唱和することで意識を高め実践につなげられるよう努めております。	毎朝唱和すると共に、管理者が普段から各職員に意識づけすることで全職員が理解を深めて実践に繋がっている。地域行事に参加する時には、「地域との交流を大切にしよう」という理念の内容を職員間で再確認しながら交流に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月町内会で開催される「ふれあい広場」や花壇作りに参加をしたり、夏には「地域交流バーベキュー」を開催し町内の方々をご招待し交流を図っております。また、行事の際にはボランティアとしてご協力頂いております。	地域の「ふれあい広場」に利用者が交代で参加して季節の製作や昔遊びなどを楽しんだり、隣接している有料老人ホームに訪れた保育園児の歌や踊り、大学生のよさこい踊りを見学している。近隣から野菜のお裾分けを戴くこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会行事へ参加、買い物、散歩など積極的に外出することで、認知症への理解を深めて頂いております。また、運営推進会議の一環とし、年に一度講習会を開催し地域の方々にも参加して頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度町内会代表・地域包括支援センター職員・ご家族様代表に参加頂き運営推進会議を開催。議事録は全ご家族様へ送付しております。	利用者や家族も交代で参加している。事業所の報告を中心に開催しているが、3月の会議は、家族からの要望で利用者の移動介助や車椅子の扱い方の勉強会を予定している。会議案内を全家族に送付して、来訪時などに意見を聴き取っている。	参加者からの希望などを聴き取りながらミニ勉強会などを増やすことで、更に充実した会議になるよう期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	札幌市、白石区で開催される管理者会議に管理者は毎回参加し情報収集を行ったり、役所の各担当者とも直接連絡をとり協力関係を図っております。	管理者は、区役所に書類の提出で訪問したり保護課の担当職員に利用者の状況を報告しながら相談している。また、事業所の指定更新手続きで市役所を訪問したり、市の集団指導に参加して情報を貰っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵はかけずに、センサー等にて人の出入りを察知できるよう配慮しております。	マニュアルを整備し、「禁止の対象となる具体的な行為」11項目をコピーして全職員に配布している。管理者は、敬語で話しかけても利用者の制止に繋がることがあるので声かけに注意するように指導している。職員間で連携しながら、利用者の行動を抑制することなく自由に行動できるように見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加することで知識と意識を高めると共に、カンファレンス等を通じ適切なケアを行えるよう対話を大切にしております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議を活用し地域包括支援センターの方に講師をして頂きご家族様、地域の方と共に学ぶ機会を得ております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書類は事前にお渡しし、熟読していただいた上で再度説明を行いご理解頂けるように努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が来訪の際には気軽にご意見が頂けるよう関係づくりを心がけ、「みのり通信」や「近況報告」を毎月発行、送付し入居者様の様子をこまめにお伝えしております。	本人の写真に掲載した「近況報告」を毎月家族に送付している。家族の来訪時には、居室などでゆっくり話をしながら意見や要望を聞き取るように配慮している。家族の要望などは内容に応じて、連絡ノートやケース記録に記載している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議、又は年2回の個人面談にて管理者と意見交換を行っております。	参加できない職員の意見を事前にメモ書きで聞き取ったり、職員からの提案を活かして備品補充や業務内容の見直しなどを行っている。管理者は、当日勤務の全職員と会話をする時間を設けながら、働きやすい職場環境を整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者による年2回の人事考課、社内研修課による研修の場で意見を集約し職場の環境改善に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に研修課による社内研修を開催し、それぞれの段階に応じた研修を受けることでお互いに切磋琢磨できる人間関係の構築に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社外研修に参加することで同業者同士のネットワーク作りを努め、サービスの向上に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当職員を中心とし、ご本人様の想いを受け止められるよう努力しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談時、来訪時、ご家族様とよく話し合いをし、これからの生活に不安が無い様に説明し、ご理解頂けるまで話し合いを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用に対しご本人様、ご家族様がよりよい生活が送れるように、相談しサービスを受けることができるよう支援に努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事後のお盆ふきや簡単な調理手伝い、新聞の片付け等それぞれの入居者様ができることを見つけ、一緒に行うことで役割を持ち、暮らしていただけるよう支援しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診にご協力頂いたり、ご家族様との外出を支援しております。また、ご家族様も協力頂ける行事を企画し多くの参加を得ております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様のご家族、ご友人の訪問や電話連絡の機会を大切にできるよう心がけております。	以前教えていた生徒が来訪したり、隣接している有料老人ホームの知人と行き来している利用者もいる。職員と一緒に買い物や近隣の公園に散歩に出かけている。家族と一緒に、自宅に帰って食事をしたり、お墓参りやドライブなどに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の食席は入居者様が気持ちよく食事ができるよう配慮しております。リビングで過ごされる際にも座る位置に配慮しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居者様が退去された後にもご家族様と連絡をとり、必要に応じ相談等の支援をさせて頂いております。また、了承が頂ければ葬儀に参列させて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様・ご家族様との対話、表情、行動の意味を深く検討し、一人ひとりの想いを大切に支援しているよう努めております。	会話から把握が難しい時は、入居時の希望や意向を参考にしながら支援している。利用者同士の会話から思いを把握することもある。趣味や嗜好などの変化も随時追記して書類を更新している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のアセスメントシートを活用しており、その情報収集にはご家族様にもご協力頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの生活リズムを大切に、現在の能力を維持できるよう興味の持たれる事、趣味活動の継続を支援しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のユニット会議で各入居者様のケアや課題を話し合い、より良いケアを行う為、ご本人様、ご家族様に説明、相談を行いご協力頂いております。	利用者担当職員を中心に評価を行い、全職員で検討しながら身体状況に変化がなければ6ヵ月毎に介護計画を作成している。サービス内容に沿って変化や課題をケース記録に記載して、介護計画の見直しに更に活かしていきたいと考えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活での出来事を個別のケース記録に記載し申し送りや連絡ノートを活用し職員間の情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様と連携を図り、病院受診、宗教活動への参加、またボランティア等の地域資源も活用し個別のニーズに対応できるよう支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域活動に積極的に参加し地域の方と交流することで入居者様とのつながりができ、充実した生活ができるよう支援しております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調の変化が見られた時は主治医に連絡、指示を受けております。また、その経過は都度ご家族様へ報告しております。	家族とかかりつけ医を受診する時には、必要に応じて健康状態をメモ書きで伝えている。分からないことがあれば、直接かかりつけ医に連絡して状況を確認することもある。受診記録は、ケース記録と月間ケース記録に個別に記載している。	

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回の往診時に入居者様の日々の様子を報告し、気づきや変化が見られた時は相談し適切に支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃より主治医との連携を図り専門の医療機関を紹介して頂ける体制を整えております。入院時にはお見舞いに伺い状態の把握に努めると共にご家族様、医療機関と情報交換を行い、早期退院に向け支援に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時に「重度化・看取りに関する対応の指針」を説明し看取り開始時には主治医、ご家族様と交えた話し合いを行っております。	利用開始時に指針に沿って事業所としての方針を説明している。体調変化に応じて主治医と家族、事業所の方針を検討し、希望に応じて「看取り介護についての同意書」を作成している。看取りを行う場合は、事前に職員研修を行いたいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に備え初期対応や応急対応のマニュアルを作成し掲示すると共に社内会議時に訓練を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	社内会議、運営推進会議の中で災害対策について話し合いを行うと共に年2回消防署、地域の方々の協力を得て避難訓練を行っております。	隣接する有料老人ホームと合同で、消防署の立ち合いの下に昼夜の火災を想定した避難訓練を実施している。地域役員も利用者の見守りとして参加している。訓練後は地域役員や消防署員と共に反省会を開催し、次回の訓練に活かしている。	地震など火災以外の災害を想定して、ケア別の対応について職員間で話し合うよう期待したい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個別の対応を重視し言葉遣い、対応を心がけております。個人情報事務所に管理しております。	利用者の生活歴などを把握し、その時の想いに添いながら丁寧に話しかけて対応している。個人的な事は居室で確認し、個人情報に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様お一人お一人に合わせた個別の対応を重視し自己決定をできるような声かけ、雰囲気作りを心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人の想いを大切にし、可能な限りその瞬間の希望を叶えられるよう職員間で連携を図り支援に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用し入居者様の個性に合わせたカットやパーマ、毛染めなどを楽しんで頂けるよう支援しております。日常的な髭剃りも職員が安全に行えるよう支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も一緒に食事をする事で会話や雰囲気を楽しんで頂けるよう心がけております。また、季節毎の行事食や誕生日にはケーキや出前寿司の提供等も行ってまいります。	本部で事前に数種類の行事食の献立を作成し、その中から選んでいる。食べたい料理がある時は、献立を中止して利用者と一緒に食材を買いに行くこともある。屋外でサンドイッチを食べたり、魚貝や近所から頂いた野菜で収穫祭を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	それぞれの状態に応じた食事形態での提供を心がけ、安全に食事ができるよう支援しております。ケース記録に食事量・水分量を記録し状況に応じた支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月に2回歯科医往診の指示のもと、毎食後口腔ケアを支援し、口腔内の清潔保持を支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄時間を把握しトイレ誘導を行うことで排泄の失敗を減らせるよう支援しております。	全員の排泄を記録し、夜間もできる限りトイレでの排泄を支援している。半数の方は自力での排泄が可能で、布パンツなどで過ごしている。入居時にリハビリパンツとパッドを使用していた方が、間隔を把握し声かけする事で、布パンツに改善している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態を把握し、都度声かけ、状況に応じ腹部マッサージ等を行い、排便を促しております。また、医師の指示のもと下剤調整を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	お一人お一人が入浴を楽しんで頂けるようにその方に合わせた時間、声かけを行い入浴して頂ける様配慮しております。	毎日午後の時間帯に、週2~3回の入浴を支援し、夏はシャワー浴を増やしている。浴室を温かくして快適に入浴ができるように配慮し、車椅子使用の方も2人介助で湯船に浸かっている。入浴を嫌がる時は清拭や足浴で対応することもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転の無い様無理のない生活リズムの調整、安心して眠ることができるよう共に過ごすなど個別の支援を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は各入居者様の薬の内容、作用副作用を把握し症状に変化が見られた場合は早急に対応ができるよう医療機関との連携を図っております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴に合わせた介護計画を作成し支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者様の意思を尊重し希望に添えるようご家族様や職員で外出の支援を行ったり、町内の方の協力により町内会の行事にも積極的に参加させていただいております。	利用者の希望を取り入れて、年間を通して計画的に外出支援を行っている。毎月個別の買い物では趣味の材料、化粧品、日用品、お菓子など利用者に合わせて店を選んでいる。季節の花見や紅葉見物、よさこい観賞、冬季には初詣や雪まつりの車窓見学など、季節ごとに外出する機会が多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	併設する有料老人ホームでの移動販売や自動販売機でご自身で選ばれた商品の購入を楽しんだり、外出行事の際お店に立ち寄り買い物を楽しんで頂けるよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所内に電話を設置しておりご自由に使用ができるようになっております。また、郵便物はご本人様にお渡しし、投函等の支援も行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前は芝生の庭になっており、市道まで距離があります。また、ベランダ前には季節毎の花を植え、季節の変化を楽しむことができるよう工夫しております。	玄関ホール、居間、浴室などの共用空間は広々としている。ゆったり過ごせるように食卓テーブルやソファの配置も工夫している。壁にはフェルトやシールで季節の装飾を施している。ピンク系やオレンジ系の花を中心にした品のよい飾り付けで、温かで落ち着いた雰囲気になっている。利用者の生け花作品なども飾ってある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にソファを設置し自由に寛いだり、会話を楽しむことが出来るよう配慮しております。また、夏には玄関と庭にベンチを設置しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には以前使われていた家具や布団を使用して頂ける様支援しております。また、お客様が来訪された際には椅子等の貸し出しも行い楽しいひと時を過ごして頂けるよう配慮しております。	居室には備え付けのクローゼットの他、整理ダンスや使っていたミン、古い時計や小物類など、馴染みの物が持ち込まれている。家族の写真や作品類を飾り、雑誌や縫いぐるみを傍に置くなど、好きなものに囲まれて寛げる居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとなっており車椅子の方でも自由に移動ができるようになっております。また、廊下両面には手すりを設置しており、扉はすべて引き戸の設計となっております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町 めろん館		
所在地	北海道札幌市白石区菊水元町9条1丁目3番1号		
自己評価作成日	平成28年3月3日	評価結果市町村受理日	平成28年4月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症であっても社会資源の活用、地域の方の協力を得て、当たり前前の生活、穏やかな毎日を過ごすことができるよう支援しております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2015_022_kan=true&JigrosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成28年3月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設時よりホーム理念を掲げ、毎朝申し送り時に唱和し、スタッフ間に浸透し実践できるよう取り組んでおります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会主催のふれあい広場に入居者様が定期的に参加。町内のお祭りや、花植え、清掃活動にも、できる限り参加できるように努力しております。イベント時には町内会のボランティアさんに余興をお願いしております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年、地域交流バーベキューを開催し、地域の方やご家族様にご参加頂き、認知症の方々へのご理解をいただけるよう取り組んでおります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しており、ホームの現状を報告し、ご意見やアドバイス、相談等を受け、サービス向上に繋がるよう努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	札幌市や白石区の連絡会、研修会に参加し、情報交換行い、担当者より連絡を取り合っております。白石区の消防署で行われる救命講習にも定期的に参加しております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを作成し、禁止項目など理解し、スタッフ一同身体拘束をしないケアに取り組んでおります。 夜間以外は施錠せず入居者様や来訪者が自由に入出入りできるようにしております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社外での研修にも積極的に参加し、虐待を見過ごすことのないように高齢者虐待防止法について学んでおります。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修等に積極的に参加し理解を深めるよう努力しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族様に十分納得して頂けるよう契約前、見学に来て頂き面談にて不安や疑問点に対して丁寧に説明行いご理解頂けるよう心掛けております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が気軽にご意見、ご要望を頂けるよう「意見箱」を玄関に設置しております。又、「みのり通信」「近況報告」を毎月送付し日頃の対話を大切にしております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、毎月のユニット会議にて意見交換の場を設置しており、年2回個人面談を行い提案、要望を聞く機会を設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が、向上心を持って働けるよう職場環境の整備のため年2回の人事考課、面談行われております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修を定期的実施し、社外研修にも参加する機会を支援しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や区内のグループホーム部会による講習会に参加する機会を設け交流、情報交換を行いサービスの向上を目指しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のご本人様、ご家族様との面談によりご本人様の状態を把握し、対話を大切にして信頼関係を築き安心して過ごして頂けるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との話し合いにおいて要望をお聞きし、対話を大切にしなが信頼関係を築いていけるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様・家族様の要望を伺いやすい環境をつくり、本人様が必要とされるサービスを提供できるよう支援をしております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、お手伝いして頂いたり、ご本人様の興味のある物事に支援をし、お互いに支え合う関係作りに努めております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事に参加して頂いたり、受診の付き添い等、協力して頂いており、家族様との絆を大切にしながら、ご本人様が望まれる生活を送れるよう支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や職員が付き添い外出をしたり、ご家族様、知人への電話連絡を仲介し、これまで通りの関係を続けられるよう支援しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	外出やレクリエーションを行い、時間を共有しながら入居者様同士の関係作りを支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も葉書などを送り、家族様との関係を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の生活や会話の中から要望や思いを受け取り、意向に沿えるよう、努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みの家具をお持ち頂いたり、家族様の写真を飾る等、入居前との生活環境が大きく変わることのないように支援しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、申し送りを行情報交換を行っております。また日勤帯、夜勤帯とケース記録に記載し、情報を共有しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を元にアセスメントを立てケアプランを作成し、毎月のユニット会議で話し合い、情報交換を行っております。また状態が変われば、主治医、ご家族様と連携を取り、話し合いを行い、対応しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日ケース記録に入居者様の日常の変化や、特変などを記載して、情報を共有し、より良いサービスが出来るよう介護計画に活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様にご協力して頂き、病院受診、マッサージ師、主治医の往診など、個人のニーズに対応した支援が行えるよう、サービスに努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会主催のふれあい広場に入居者様が参加されております。また町内会の皆様に運営推進会議に参加して頂き情報交換を行い地域の皆様との、交流を深めております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科の主治医の往診が月2回あり、特変があれば、24時間相談可能になっております。歯科医も月2回往診があり、受診体制を作っております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回看護師が往診されております。日々の体調の変化や特変などを訪問看護申し送り表に記載し、往診後に指示を頂き、入居者様の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急時は医療機関へ受診出来るように体制ができております。また入居者様が入院された場合はご家族様、医療機関と情報交換を行い共に早期退院を目指しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化した場合や看取りについて、ご本人様、ご家族様への説明を行うと共に、方針を共有し医療機関とも連携を取りながら、チームで支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時はいつでも主治医の指示を仰げる体制を整えており、職員は定期的に救命講習を受講し対応について学んでおります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回(日中・夜間を想定)避難訓練を実施し、町内会の方々にも協力を頂き、緊急連絡網を作成して体制作りを行っております。非常時持ち出し袋を常備しております。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩である事を常に念頭に、自尊心に配慮した言葉掛けや対応を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が気兼ねなく希望を伝える事の出来る関係作りや、環境作りを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合を優先させるのではなく、入居者様のその日の体調や気分を把握し、一人ひとりに合ったペースで、希望にそった支援を心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用し、利用者様の希望にそった支援を行っております。また ご家族様が衣類を購入して下さったり、時には職員同行にて利用者様ご自身で選んで購入出来るよう支援しております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めるん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節により行事食を取り入れたり、野外でバーベキューを行うなど、食事を楽しんで頂けるように努めております。また残存機能を発揮して頂けるよう、一人ひとりに合った支援を行っております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事量を記録し、個々人の平均摂取量を把握、その人にあつた形態のお食事を提供できるよう努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の歯科往診で口腔内のチェックとアドバイスを頂き、毎食後のケアを実施。ご自分で口腔ケア行う事が困難な入居者様にはスタッフが介助行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	毎日の排泄記録により排泄パターンを把握し、おむつを使用されている方でも日中は必ずトイレ誘導を行い、トイレでの排泄を支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日起床時に乳製品を提供しております。毎日の排泄記録により医療機関と連携を図りながら必要に応じ薬の調整を行っております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそつた支援をしている	ご本人の意向による同性介助や希望の順番をお聞きするなど、入浴を楽しんで頂けるよう個々にそつた支援を行っております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や習慣に合わせて、居室で休んで頂いたり、安眠できるよう寝具や環境づくりが出来るように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日勤者が薬を準備し、他のスタッフ2名で確認を行っております。服薬は担当者が日付、名前、時間を声に出して読み上げて行い、服薬後は服薬確認表に薬の空き袋を確認し記載しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが張り合いを持ち、残存機能を活かせる様支援すると共に、希望に応じて嗜好品購入の為の外出支援を行い気分転換して頂いております。		

グループホームみのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	雪祭りやどんど焼きなどのイベントごとの参加を始め、近隣の公園への散歩やドライブ、お買い物等を入居者様のご希望に耳を傾け、事故の無いように計画を立て外出支援を行っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時や移動販売の利用の際、各入居者様の能力に応じて所持して頂き、支払いや購入検討については職員が付き添い支援を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様に使いやすいようにリビングに電話機を設置、利用方法など説明を行い、ご利用頂いております。また、代筆や投函代行などお手紙のやりとりも支援行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々の清掃を欠かさず、季節ごとのイベント時には装飾を行っております。また、一日2回以上温度、湿度の確認を行い、入居者様に住みよい環境づくりを行っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースは皆様が利用しやすいようにソファやダイニングテーブルを配置し、他入居者様との歓談がしやすい環境づくりを行っております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様、ご家族様との相談を行い、慣れ親しんだ品の持ち込み、居室での利用頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗をする事が無いように洗濯物や食事準備等が自由に出来る様配慮し支援ができるよう努めております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームみのり菊水元町

作成日：平成 28年 4月 5日

市町村受理日：平成 28年 4月 6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議で1年毎に講習会を行っていたが、ご家族様からの要望もあり、より充実した会議になるよう企画していく。	参加者や来訪者に要望を聞き取り、講習会の内容を決め実践する。	年に2回、講習会を行い地域の方にも声を掛け、みのりある会議にしていく。	1年間
2	35	災害を想定した避難訓練は行っていたが、ケア別の対応までは話し合っていないため、次回の訓練時に活かす。	職員で話し合い、実践する。	入浴中、トイレ介助中に災害が起きることを想定し職員で話し合い、訓練に備え、実践する。	半年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。